

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社竜田産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																							
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・経営理念は経営者を通じてあるべき姿として従業員に説明し共有している。 ・従業員は、自らのやるべきことを理解し、協力し合い、新しい手法に挑戦している。												8	9							17				
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・社長、管理職より朝礼や月次の定期会議において交通法規など法令遵守の重要性を従業員に向けて発信している。 ・騒音や振動規制を遵守するようにしている。																				16				
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・下請業者発注する場合に、正当な金額、条件とするよう厳しく伝えていく。																					16			
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として専務取締役を任命している。 ・自らの事業活動が、社会・環境に及ぼす影響(可能性)について把握し、月次の定期会議や朝礼などで、従業員への啓発をはかっている。																					16			
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・工事によっては、特殊な工法等で特許の侵害排除になることがあるので十分注意している。 ・従業員に対して、朝礼などで知的財産保護の啓発をはかっている。								8.2	9															
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・情報漏洩事故に対する具体的な対応策を示したルールを策定している。 ・従業員に対して、朝礼などで情報漏洩防止の啓発をはかっている。 ・個人情報(特にマイナンバー)については厳重に管理し一部の社員のみ閲覧できるようにしている。																					16			
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		・工事前のチラシ配布、広報誌の配布等をしている。工事現場の地域住民の声(特に苦情)を大事にしている。その声が経営層にも届くよう社内のコミュニケーションにも努めている。 ・工事地域の自治会の方とコミュニケーションをとるなどしている。																					16	17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5								8		10			12	13	14	15	16	17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																	9			11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者の指導・育成に取り組んでいる。 ※後継者に対して社長業を代行させている。代理で研修・会合などに参加させている。													8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5							8					12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・就業規則に「ハラスメントの禁止」を謳い、各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。 ・社長よりハラスメントに関して定期会議や朝礼などで管理職に対して厳しく伝えて発生しないようにしている。				4.3	5.1							8.5			10.2					16.1	16.2	16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・労働安全衛生については改善提案が有ればすぐに手を打っている。 ・労働安全衛生に対しては、従業員及び管理職に向けた教育や定期会議や朝礼などで、従業員への徹底をはかっている。			3									8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・従業員(正社員・準社員・臨時社員)に対して、公正な待遇を実施している。 ・業務の種類によって正社員とそれ以外の社員の業務内容を区別している。					5.5							8.5			10.2							10.3		
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・ワークライフバランスに力を入れており、業務効率化による労働時間の短縮や、フレックス・在宅ワークの導入による働き方改革へ取り組んでいる。 ・残業時間の管理徹底や有給休暇の取得奨励により、健康増進、家事や育児、ボランティア活動への積極的参画などの環境を整えている。			3		5.5							8.5	8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・外部研修の受講や各種資格の取得を奨励しており、経費支援がある。 ・職種に応じて、適切な能力開発、教育訓練の場が提供されている ※工事ごとの研修(建設業労働災害防止協会)、土木施工管理技士、舗装施工管理技術者					4	5.5						8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・朝礼時に交通事故などへの注意喚起、健康チェックがされている。 ・健康診断は経費補助があり、毎年受診するよう、予約・実施の登録を管理されている。						3							8									17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・従業員の昇進・昇格等に、性別による差別的待遇はしていない。 ・管理職に対して、男女公平な働きやすい職場環境になるよう、休憩時間、待遇、残業管理等、子育て世代への支援等に関して気配りするよう指導している。				4.4	5.1	5.5							8.5		10.2	10.3						16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・密を避けるためのフレックス、在宅勤務(テレワーク等)を導入するなど、新しい働き方に対する労務管理体制を整備している。 ・事業所内では、飛沫防止パネルの設置、Web会議活用など実施している。							3						8	9.1			11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・LINEワークスにより下請業者とのコミュニケーションを図っている。 ・OneDrive採用により外出先からでもデータの閲覧ができるようにしている。 ・社員へのPC、モバイル機器配付などIT投資によりテレワーク、直行直帰を推進している。													8	9.1			11	12						
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。	●						3	4								8	9								12		

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社竜田産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。  
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																				
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・排出される廃棄物は免許、許可を持った業者と契約し、処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1						
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・「簡易計算シート」により自社のエネルギー使用量を把握し、削減に努めている。 ・省電力型エアコン、LED導入によりオフィスの節電に取り組んでいる。								7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・「簡易計算シート」により自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減に努めている。 ・社用車を1台ハイブリッド車とし、CO2排出の抑制に取り組んでいる。			2.4							7.2 7.3 7.a			12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・事業活動において排出される排水が誤って近隣の土壌や水資源に悪影響を与えないように細心の注意を払っている。 ・遠方の工事用に発生するCO2の削減のためにハイブリッド車を積極的に採用している。						6.6									14	15					
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生用紙やエコ商品の利用を推進している。 ・社内で電子化によるペーパーレス、裏紙の利用を促進している。 ・事務作業では電子データによるペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。											9.4		12.2 12.4 12.5		14.1	15					
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・トイレや洗面所、流し台などへ「節水」を表示し従業員に対して無駄のない水資源の利用を促している。 ※「節水」の表示としてNPO法人JANICのひとつ多い貼り紙を活用している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・グリーン購入に努めている ・再生用紙やエコ商品の販売・利用を推進している。											9.4		12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15			17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3			15			17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3							
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15					
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5			14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3							
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13						17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 株式会社竜田産業

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・工事前に工事設計書の照査を実施している。 ・施工前・中・後には、品質証明員が検査している。			3.9						9			12.4											
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・工事現場では、視認性の高い(反射)バリケードや照明で通行の注意喚起をしている。 ・工事現場近くを通行しやすいように、段差を解消するなど十分な配慮をしている。									9.1	10	11.7										17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	・工事現場で使用する、木材、コンクリート二次製品は、県産のものを優先的に利用している。		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15						17		
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15								
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●												8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15			17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治体活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・熊本県建設業協会の熊本新港緑地公園の清掃に参加している。 ・工事現場のある校区の小学校へ遊具など寄付している。 ・工事をした校区の小学校に工事関係の絵本を寄付して建設業という職業を知ってもらおう活動をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業所において、防災備蓄や防災グッズを常備している。 ・従業員にハザードマップを周知している。 ・ハザードマップを踏まえた、災害に対応する保険に加入している。				4								11.5		13.1						16			
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・建設業協会員として熊本県と防災協定を結んでいる。 ・熊本市と契約して北区全域の災害対応をしている。(警報が出た場合は待機している)	1.5			3	4						10.2	11.5		13.1					16	17			
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1									
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●								1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●					4								8.6		10.2								17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・地元の学生、若者を積極的に雇用している。					4.4							8.5 8.6										17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●						2				4.3 4.4 4.5			8.6		10.2		12	13	14	15			17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。